

## 医療法人おひさま会の患者さまへ

当法人では、患者さんの試料・情報を用いた下記の医学研究を、当法人の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究への協力を希望されない患者さんは、その旨を下記の問い合わせに示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。なお、本研究への協力を希望されない場合でも不利益を受けることはありません。

研究課題名（研究番号）	インフルエンザ臨床症状に関する研究（No.003）
研究実施機関	医療法人おひさま会 おひさまクリニック・おひさまクリニック西宮・おひさま在宅クリニック
当院の研究責任者（所属）	山口高秀（理事長）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	*研究責任者 神戸大学大学院医学研究科 医学教育学分野教授 見坂 恒明 *参加施設 兵庫県立丹波医療センター・丹波市ミルネ診療所・公立香住病院・公立豊岡病院組合立 豊岡病院 出石医療センター
研究の実施期間	2020年1月18日（倫理審査委員会承認日）～2026年3月31日 （兵庫県立丹波医療センター；丹医第1168号）
研究の目的・意義	本研究は、米国で用いられている ①急性発症（＜48時間）②筋肉痛 ③悪寒または発汗 ④発熱と咳嗽 の基準による臨床症状を用いたインフルエンザの臨床予測ルールに、日本で有用 とされている咽頭後壁のリンパ濾胞の所見を用いて、新たなインフルエンザの臨床予測ルールを 構築することを目的とする。
研究の対象・方法	対象：上述の医療施設にて訪問診療を行っているもしくは訪問診療を実施しており、インフル エンザ罹患が疑われる患者 方法：多施設後ろ向き観察研究 ①主要評価項目：発症から受診までの時間、発熱、筋肉痛、悪寒また発汗、咳嗽、喀痰、 倦怠感、鼻汁、頭痛、咽頭痛の症状、体温、咽頭後壁の所見。 ②解析：各所見のインフルエンザ患者における各臨床症状のオッズ比を算出すること、並びにそれ に基づいた新たな臨床予測ルールを作成する。
試料・情報の他の研究機関への提 供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い （個人情報の項目）	本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人を識別できる情報（住所、氏名、生年月日） をすべて削除し、研究番号を振り分け、どなたのものかわからない匿名化データとして使用しま す。
お問い合わせ先	医療法人おひさま会 岡本敬久（電話：078-708-2522）
備考 （利益相反など）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。